

お客さま本位の業務運営に関する取組状況 および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な 共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

越前たけふ農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様 のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な 商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

※ 商品選定の考え方：JAバンクHP（<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>）

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済・保険の仕組み・サービスの提供

(2) 共済・保険の仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

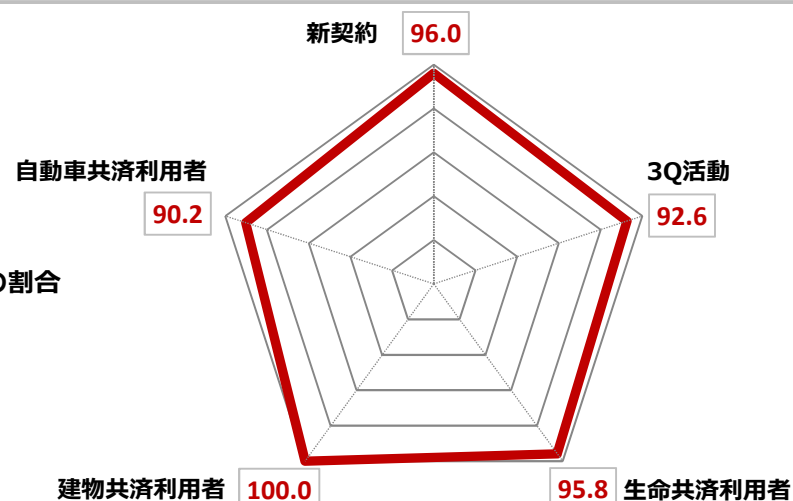
- ・ 組合員・利用者の皆さまが不安なく暮らせるよう、生活全般に潜むリスクに対して安心して備えられるよう最良の共済及び保険の商品・サービスを提供します。
- ・ 組合員・利用者の皆さまに満足いただける商品を提供するため、共済商品および損保ジャパン・SOMPOひまわり生命商品を取り扱い、組合員・利用者のあらゆるニーズにお応えできる商品をご提案します。
- ・ 住宅価格の高騰および税制上のメリットから連帯債務の住宅ローンを選択する利用者が増加したことに伴い、2023年度より連生タイプの団体信用生命共済の取扱いを開始しました。
- ・ 当組合では、JA共済においては市場リスクを有する商品の提供を実施しておりませんが、SOMPOひまわり生命保険においては投資性商品である変額保険の提供を実施しています。
- ・ 2024年8月時点における総合満足度は下記の通りです。

<JA共済お客さま総合満足度>

総合満足度 93.5

※総合満足度・・・JA共済全般に対する満足度

※総合満足度は、6段階評価で「とても満足＋満足＋やや満足」の割合



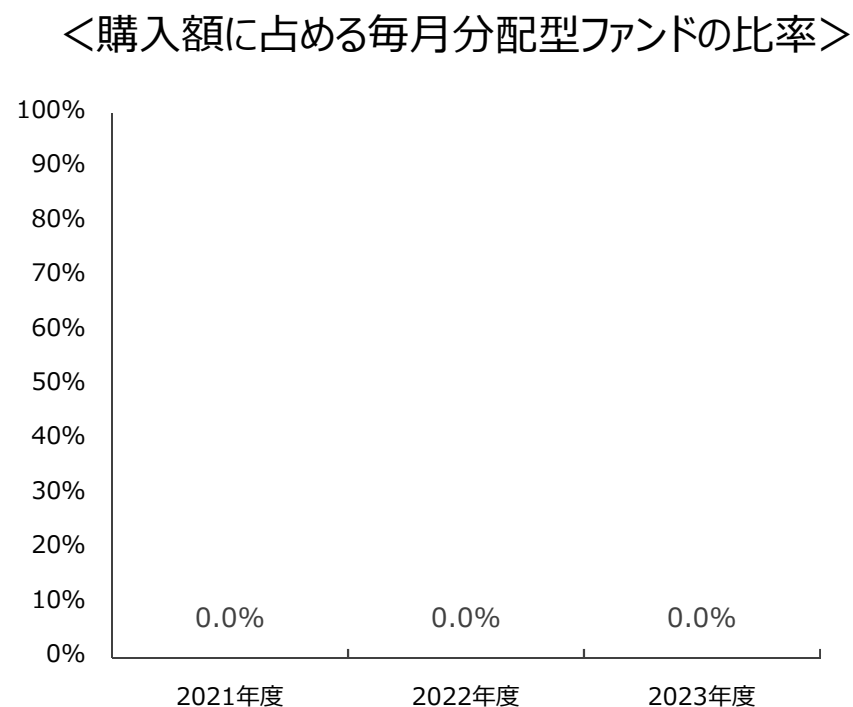
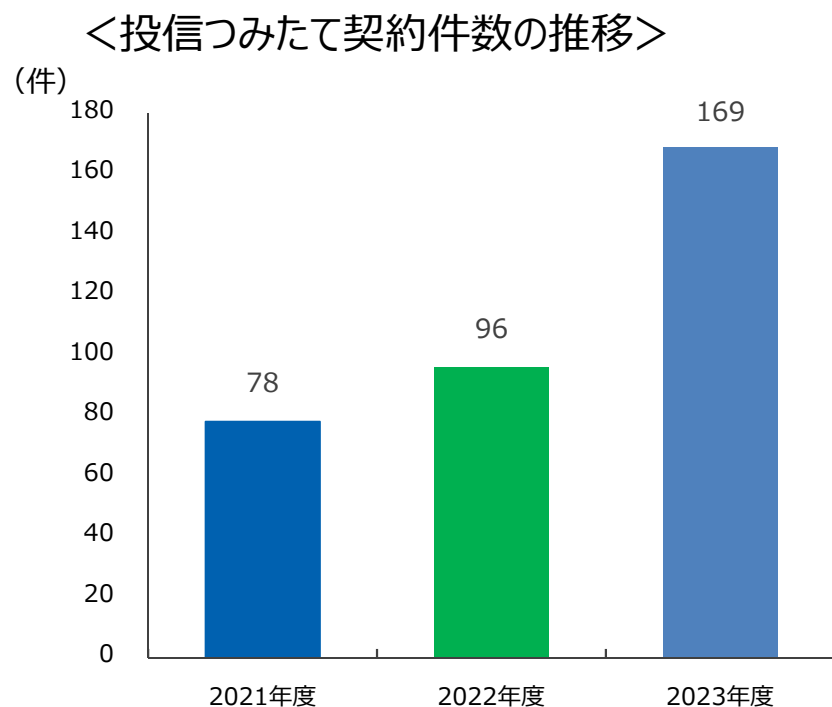
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、4、5)】

(1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせてリアルタイムな情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加いたしました。



I.取組状況

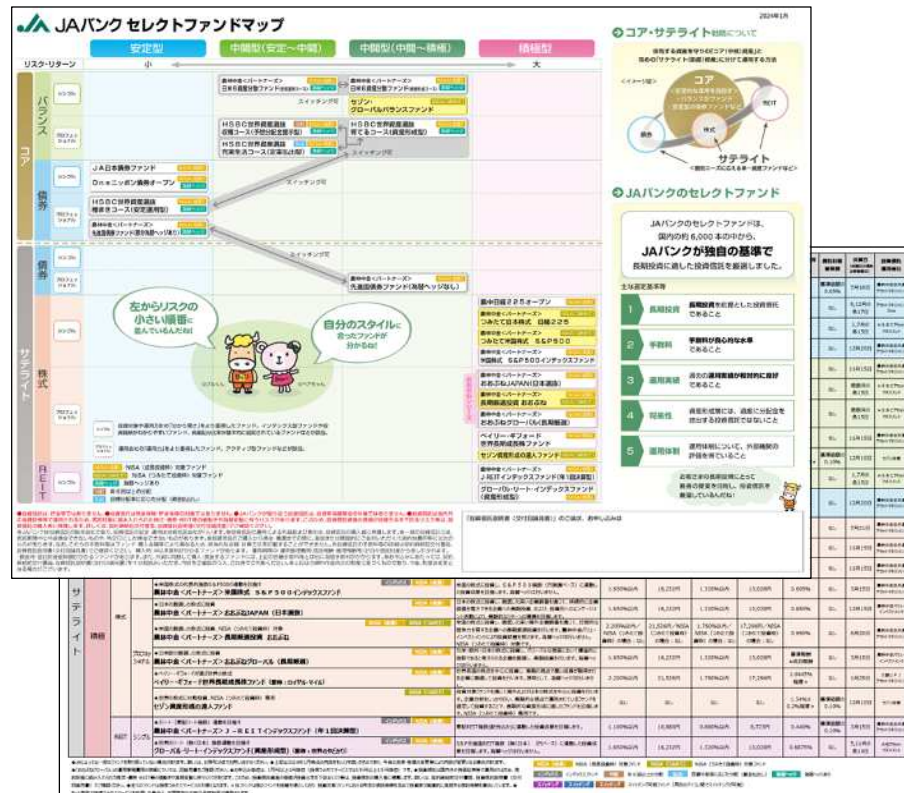
2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、分かりやすくご説明し、ニーズに合った商品をご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用の上簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

＜参考1：JAバンクセレクトファンドマップイメージ＞



＜参考2：重要情報シートイメージ＞

重要情報シートのイメージ。上部には「JAバンクセレクトファンドマップ」のタイトルと「重要情報シート」の表が示されています。表には「投資目的」「リスク」「手数料」などの項目があり、下部には「重要情報」の欄があります。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済・保険の事業活動

① 共済・保険の仕組み・サービスのご提案

- 共済・保険の仕組み・サービスの提案にあたっては、組合員・利用者の皆さま一人ひとりの情報やご意向を丁寧に確認しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、共済および損保ジャパン・S O M P O ひまわり生命商品から、最良・最適なものを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済・保険の仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。



I.取組状況

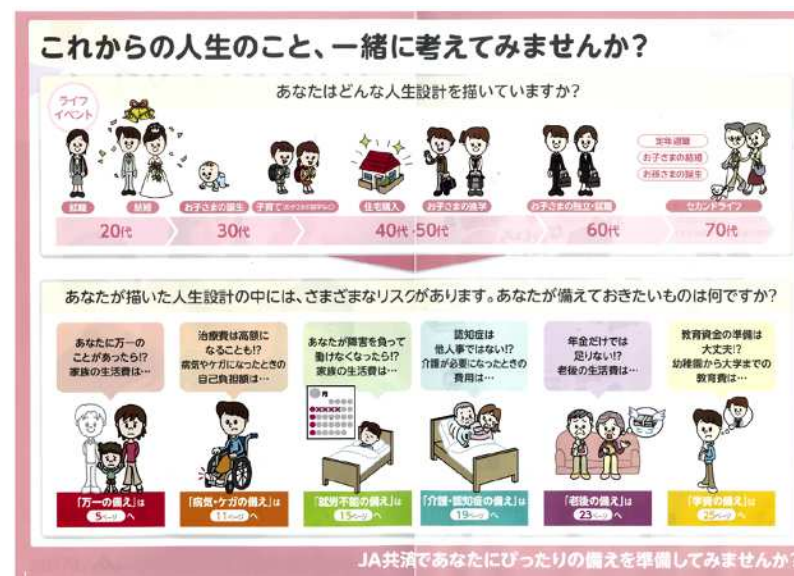
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済・保険の事業活動

② 情報提供

- 組合員・利用者の皆さまの年齢や性別、家族状況などに応じ、各種公的保険制度等にかかる情報提供を分かりやすく行っております。
- 情報提供にあたっては、パンフレット・商品概要説明書などにより、組合員・利用者の皆さまの真のご理解につながるよう、商品内容やリスク内容等の重要な情報について分かりやすく説明しております。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済・保険の事業活動

③ 契約締結時の対応

- 当組合では、契約締結時に意向確認書を通じて、組合員・利用者の皆さまのご意向の把握、ご提案した共済・保険仕組み・サービスがご意向に沿ったものであるか確認をしております。

④ 高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、より丁寧に分かりやすく説明し、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族にもご同席いただいております。ご同席いただけない場合には渉外担当者からご家族への電話や訪問を通じて、ご加入の意思やご契約内容を再度説明するなど、きめ細やかな対応を行っております。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすいご説明を心掛けるとともに、3Q活動を通じて保障内容の確認、共済金・保険金等の請求勧奨の実施、豊かで明るい「人生100年時代」に貢献するため健康増進情報等サービスの提供等、組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 当組合では、保障の加入にあたり、共済掛金・保険料の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等はお負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則 3 本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないよう、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。
- 当組合は、営業部門から独立した「利益相反管理統括部署（総務部）」を設定し、利益相反のおそれのある取引を適切に把握する態勢を整備し、管理しております。
- 組合員・利用者の皆さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を下記の通り類型として定め、当該取引・行為を検知する態勢を整えています。

基本類型	取引例
① 組合員・利用者の皆さまと当組合との間の利益が相反する類型	抱き合わせ販売や優越的地位の濫用等に該当する取引を行う場合
② 組合員・利用者の皆さまの相互間の利益が相反する類型	接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合

- 報告・相談、新規業務等による利益相反のおそれのある取引の特定の結果や組合員・利用者の皆さまからの相談・苦情等を踏まえて、定期的にまたは必要に応じて随時に類型および管理方法の追加・変更の検討を行うこと等により、利益相反管理態勢の妥当性について定期的に検証を行ってまいります。
- 2023年度においても管理態勢の妥当性について検証し、問題がないことを確認しました。

I.取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

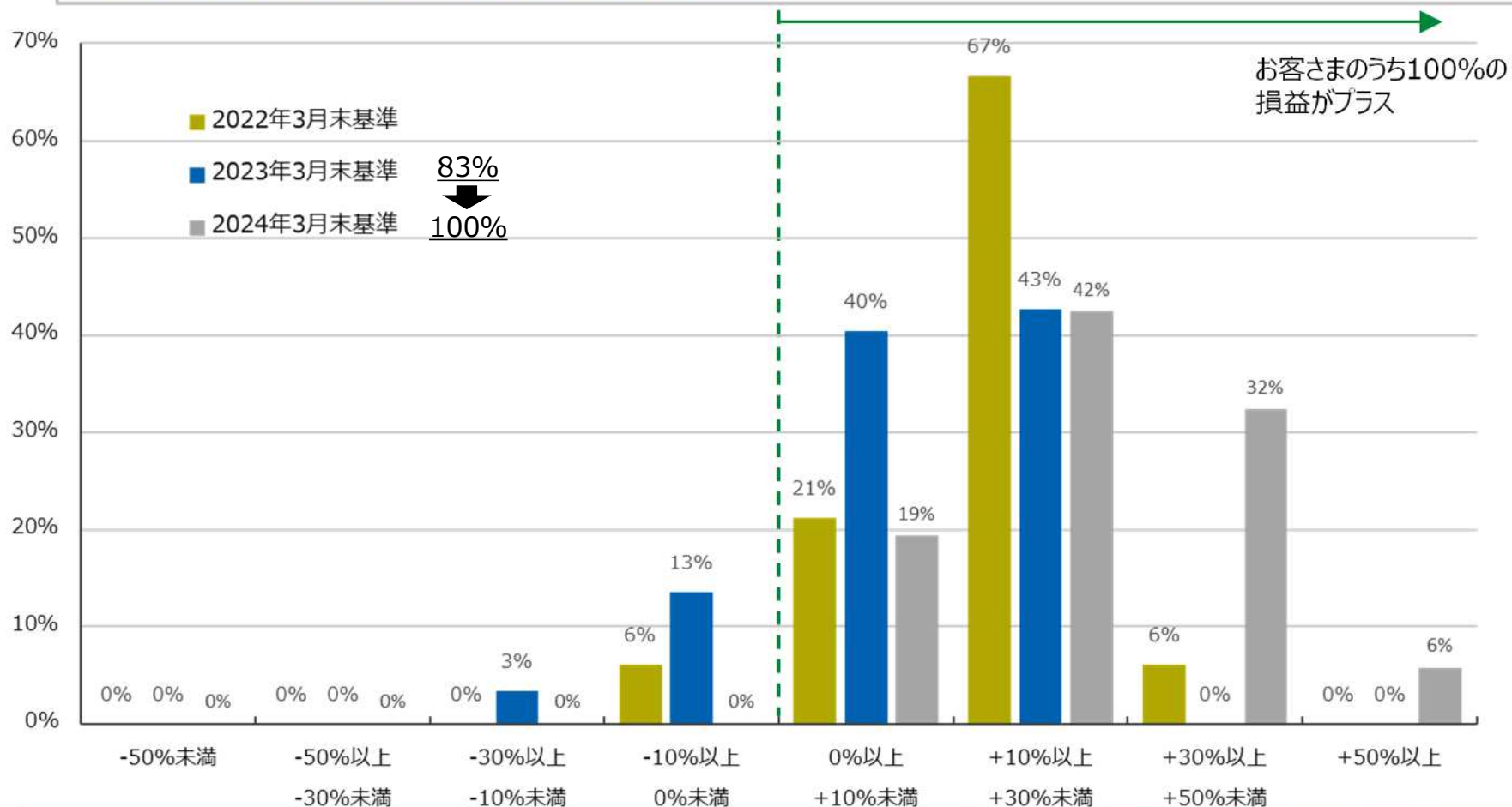
- 当組合は、研修による指導や資格取得の推奨を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うとともに、お客様に信頼される人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
- 「JAコンサルティングセンター」にて、組合員・利用者の皆さまの相談に対応するため専門の士業者や職員を配置し、様々な疑問や問題に対応していきます。
- 当組合は、組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談・ご要望・苦情など）」を定期的に役職員へ周知し、業務改善に活かすよう努めています。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

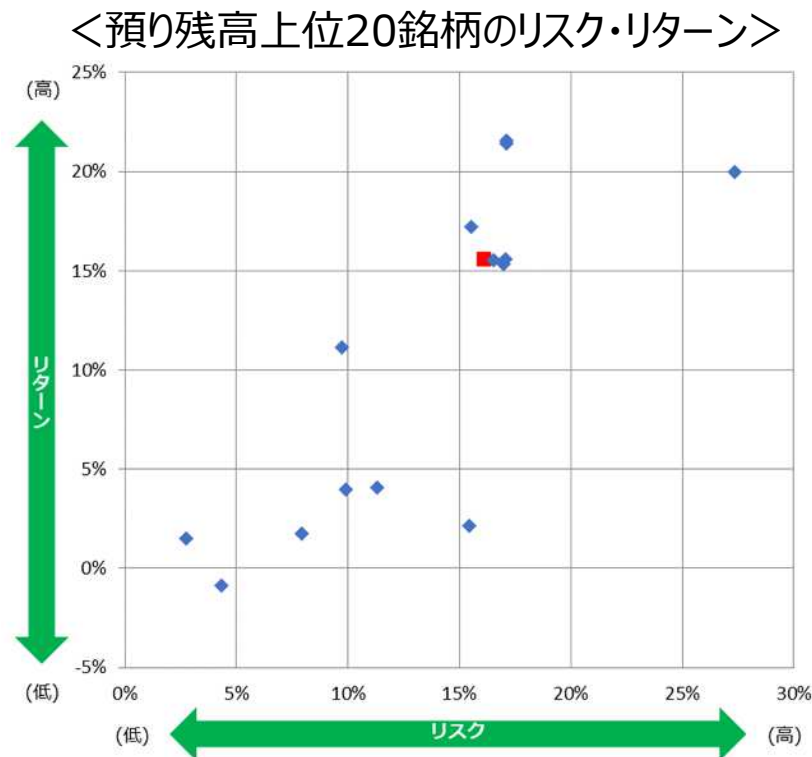
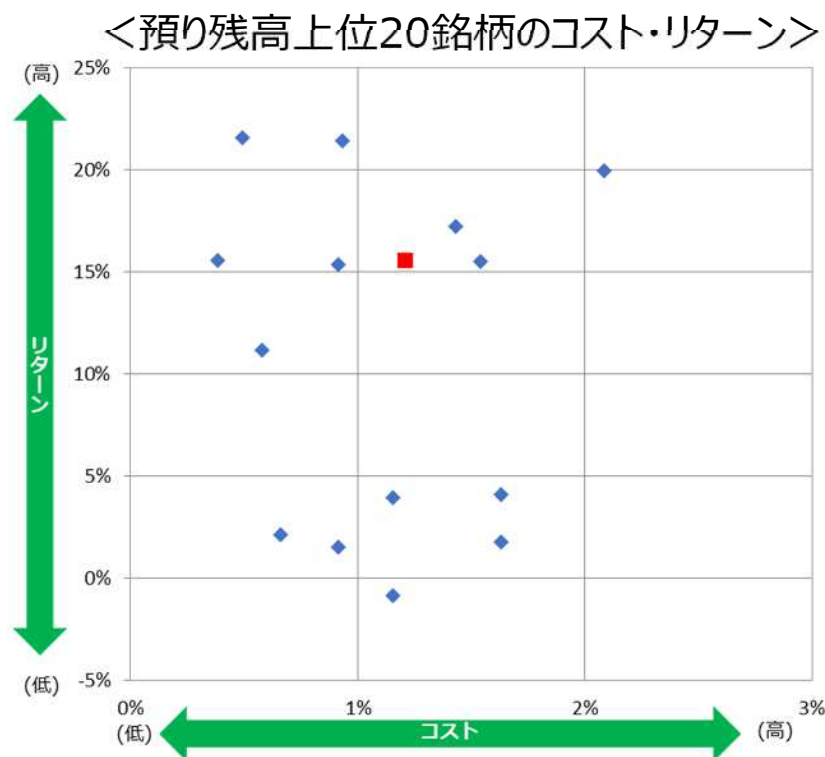
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）につきましては、2024年3月末時点で実績はありません。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

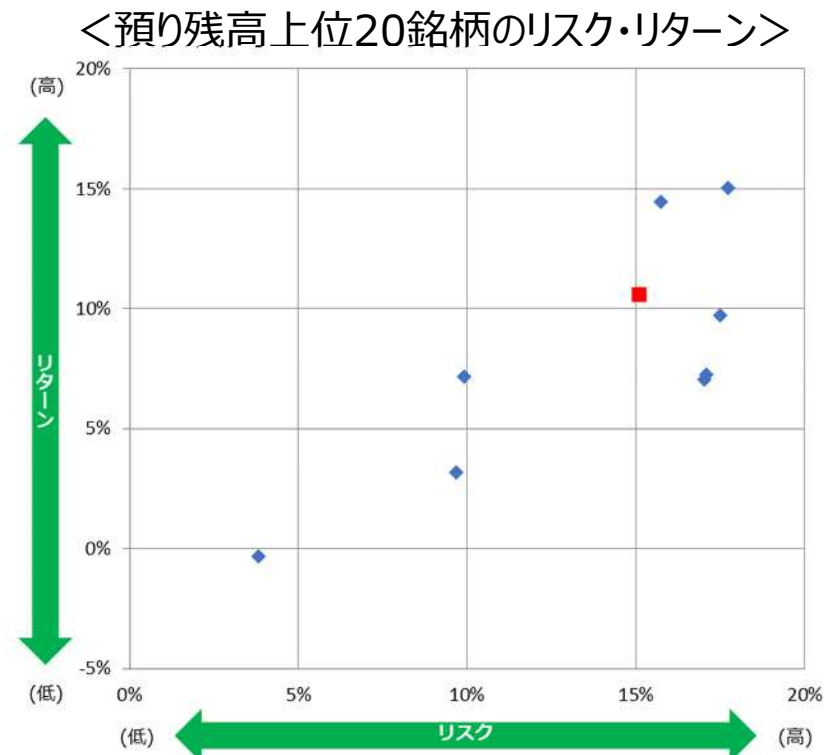
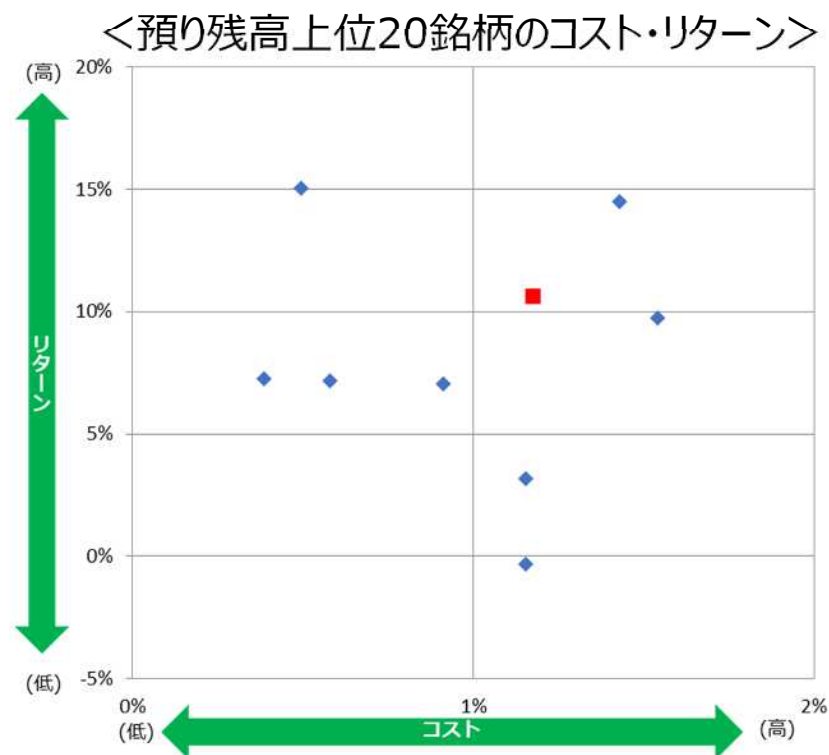
- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.21%、平均リスク16.08%に対して、平均リターンは15.58%でした。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

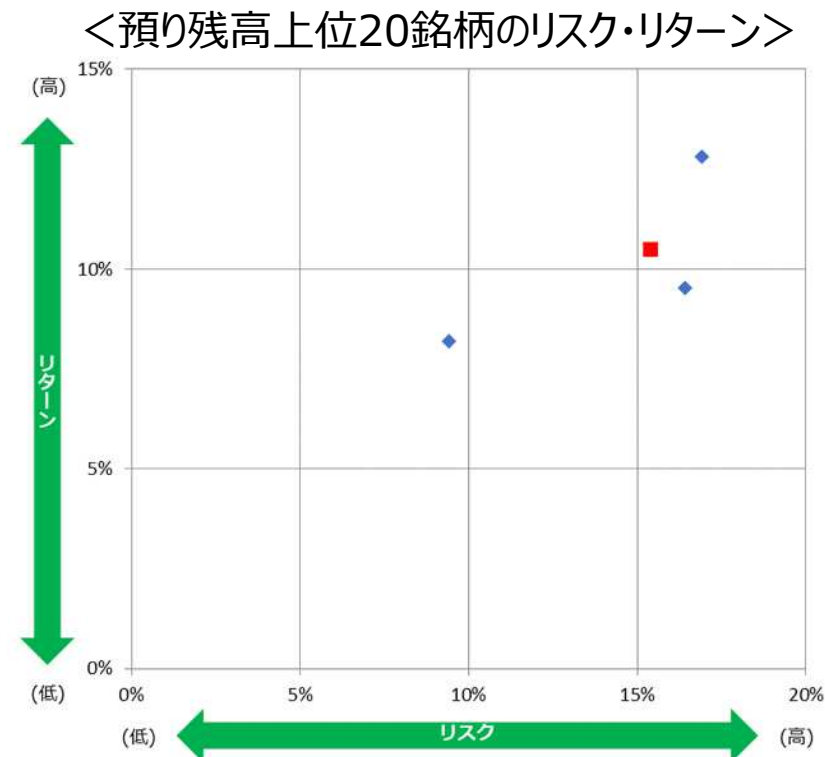
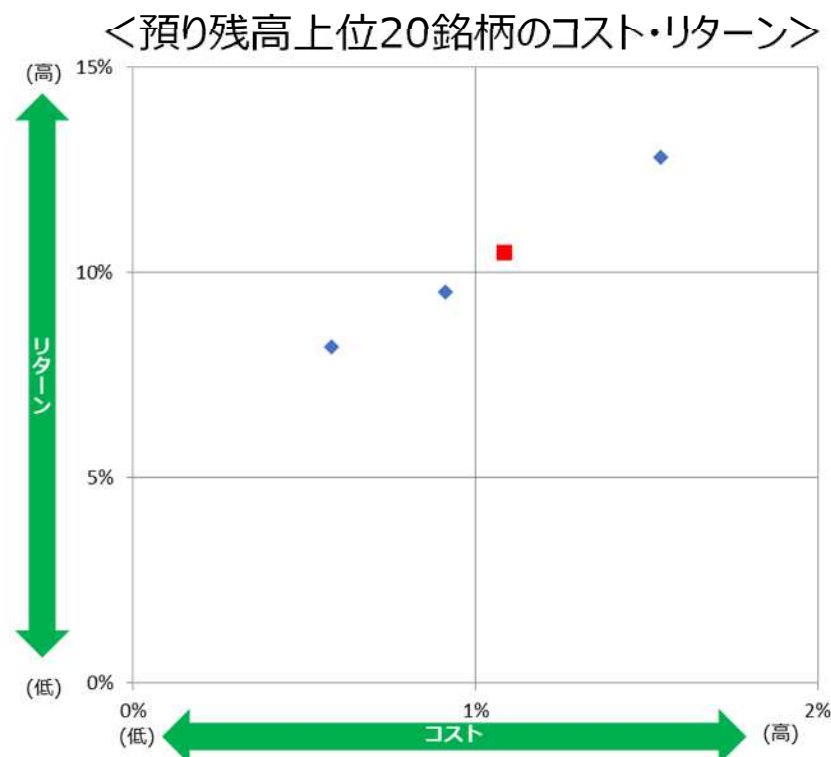
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.18%、平均リスク15.11%に対して、平均リターンは10.61%でした。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2022年3月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.08%、平均リスク15.38%に対して、平均リターンは10.50%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、P17に記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
7	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
11	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
12	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
14	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		15.58%	16.08%	1.21%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.48%	15.74%	1.43%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.34%	3.81%	1.16%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.61%	15.11%	1.18%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.50%	15.38%	1.08%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。